

## 『地震総合訓練』の概要と当日の様子

目的：東海地震、東南海地震等の災害に備え、生命の安全を図ることの大切さを理解させ、機敏な行動がとれるように訓練する。災害時の初動対応と避難経路、避難場所を学生及び教職員に確認させる。また、避難の所要時間を把握する。併せて、消火訓練、自衛消防隊の編成訓練、及び個別訓練を同時に行う。

### 12：40 地震総合訓練開始

「政府から東海地震関連情報の発表」

「緊急地震速報をテレビ・ラジオから入手」

「大規模地震が発生し、2～3分後に大きな揺れが到達する。」

#### ◆災害対策本部の設置

人命の安全と被害の軽減及び復旧の対策等を行うため、災害対策本部を設置。



#### ◆自衛消防隊の編成

総括班、初期消火班、安全防護班、避難誘導班、搬出班、応急救護班の6班が編成され、各班長は、編成状況を班員名簿で確認し、統括管理者へ報告。



12:45 東海地震発生

12:46 揺れがおさまり、避難誘導開始

◆避難誘導開始

- 総括班：災害情報を収集、災害対策本部に報告。
- 避難誘導班：誘導経路の配置につき、学生・教職員を避難場所（グラウンド）に誘導。
- 初期消火班及び安全防護班：防火戸、防火シャッター、防火ダンパー等を避難誘導完了とともに遮断措置。
- 搬出班：重要書類、危険物等の搬出。etc.



◆避難場所（グラウンド）に集合

避難場所に到着後、学科ごとに学生は整列し、人数確認を行う。



◆避難誘導等完了

学科長は、避難人数を集約し、避難誘導班長に報告。避難誘導班長は、学科長からの報告結果を集約し、統括管理者及び災害対策本部に報告。



◆消火訓練の実施

大府市消防署の署員の方から、消火活動の指導を受ける。



◆消火訓練の実施  
学生による消火活動を実施



13:50 地震総合訓練の総括  
◆副学長からの地震総合訓練の講評



◆14:05 地震総合訓練を終了し、解散

